



★ 羅針盤 No.65

8月です。気象庁の春の長期予報では、今年はエルニーニョの影響で冷夏も予想されたと報道されましたが、このところの猛暑はどうでしょう。仕事に夢中になって熱中症にならぬよう、定期的に水分補給しましょう。

7月23日、航空自衛隊のテストパイロット出身の油井さんがJAXA宇宙飛行士としてロシアの宇宙船ソユーズで国際宇宙ステーションへ飛びたちました。これから5ヶ月間、日本の実験棟「きぼう」にて科学実験やステーションの運用に携わる予定とのこと。宇宙から家族への初交信で「地球がやっぱりすごくきれい。みんなに見せてあげたい」と伝えたとの報道がありました。そのきれいな地球を次の世代へ残すために、われらが処理業界の責任は益々重要となってきます。不法投棄を撲滅し、少量の廃棄物でも丁寧にリサイクル処理するよう心がけなければなりません。また、地球がきれいに見えると言う宇宙も今では宇宙開発のごみがいっぱいになっているようです。米ロ中の宇宙開発の結果もたらされたスペースデブリ(宇宙ゴミ)は、ついに互いの衝突によって自己増殖を始めているとか。人工衛星同士の衝突事故も発生しています。いつかは宇宙のごみも回収処理する日が来るかもしれません。



向日葵

東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理を「いつでも」お受けいたします。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。

東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <http://www.tokometal.co.jp>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

★ 羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの8月予測

営業部 Y の考察

- 鉄スクラップ** → 考察) 7月は、東京製鉄宇都宮工場特級価格25,500円/トンでスタート。最終的には、22,500円/トン。3,000円も下がりました。8月は発生が少ないため、国内電炉メーカーは、減産はするが、スクラップ価格の下げには慎重になると思われます。しかし、浜値の動きから見ても上がることはないでしょう。あと1,000円/トン位は下がると考えられます。
- 銅** → 考察) LME 6,040ドル/トン台でスタートしたものの、最終的には5,200ドル/トン台まで下落、国内銅建値も700,000円/トンですが、まだ下がる余地が見られます。中国需要に先々不安な材料がある為、8月も期待できないでしょう。為替次第では、さらなる下げが予想されます。
- アルミ** → 考察) 7月はLME1,650ドル/トンでスタート、最終的には1,650ドル/トン台。ほぼ動きが有りませんでした。裾物であるアルミ缶は依然低調。8月は横ばいと思われる。
- プラスチック** → 考察) 原油の下落はあるものの為替が円安のため現状維持と言ったところですが、相変わらずプラのスクラップは品質が厳しく、ミックスの売却が難しくなっています。8月も変わらないでしょう。

7月予測の自己評価

鉄スクラップ	○	アルミ	○
銅	×	プラスチック	○



★ 羅針盤

廃棄物の処分に

「無許可」の回収業者を利用していませんか？

廃家電品や粗大ごみの扱いについて、環境省がQ&Aの形でホームページで広報しております。廃棄物処理業の対象範囲の基本ともいえる内容ですので、その概要を転載致します。

古物や廃棄物の処理は決められた処分業者に依頼し、決して無許可の廃棄物回収業者を利用しないようにしましょう。

中古品等の売買は、**古物商**の許可業者
 工場や企業の廃棄物処理は、**産業廃棄物処理業**の許可業者
 ご家庭からの廃棄物の処理は、**一般廃棄物処理業**の許可業者

- Q1. 「無許可」の廃棄物回収業者とは何でしょうか？
- A1. ご家庭の廃棄物を、市区町村の**一般廃棄物処理業**の許可なく、または市区町村の委託を受けずに、違法に回収している業者のことです。「無許可」の廃棄物回収業者には、町中を大音量で巡回、空き地で回収、チラシを配布、インターネットで広告などの例があります。
- Q2. なぜ「無許可」の廃棄物回収業者に廃棄物の処分を依頼してはいけないのですか？
- A2. 廃棄物を無許可の廃棄物回収業者に渡すと、法を守った適正な処理が確認できないからです。不法投棄、不適正処理、不適正な管理による火災などの報告や、高額な処理料金を請求された事例もあります。
- Q3. ちらしやホームページを見ると、ある回収業者は「産業廃棄物処理業の許可」と「古物商の許可」を持っているようです。この業者なら、廃棄物の処分を依頼しても問題ないですか？
- A3. ご家庭の廃棄物を回収するには、**市区町村の「一般廃棄物処理業許可」**や**委託が必要**です。「産業廃棄物処理業の許可」や「古物商の許可」では回収できません。
- Q4. 廃家電や粗大ごみなどの廃棄物を正しく処分するには、どうすればよいですか？
- A4. お住まいの市区町村が案内するルールで処分してください。処分方法が分からないときは、ご遠慮なくお住まいの市区町村にお問合せください。
- Q5. 比較的新しくて十分に使える家電製品なので、リサイクルではなく中古品として売却(リユース)したいのですが？
- A5. 中古品を扱うリユースショップ(リサイクルショップ)など、古物商の許可を有し、信用できる業者に中古品としての買取りを依頼してください。

※以上、ご参考にしていただければ幸いです。(編集者)



私のリサイクル業人生 (東港金属と共に)

第2回

昭和36年、入社年の12月に運転免許を取得した私は、嬉しくてまらず、毎日の配達業務は楽しいものでした。会社で最初に運転したのは、三輪車で丸ハンドルの2t車でした。仕事は納品と引取だったと思います。当時は昭和39年開催の東京オリンピックに向けて、高速道路などの建設が盛んでしたが、今に比べれば交通量は少なく、交通ルールの取り締まりも厳しくなかったためもあり、自由自在な(無謀)運転の毎日だったように覚えています。

板橋にある同族会社の東京製錬への荷送りの往復時には、港区芝の会社までの帰路を、どの道を使うと一番早く帰れるか同期入社の仲間とよく競争して走っていました。(現在では、距離より渋滞状況が所要時間に影響するのでしょうか)

またこの頃は、庸一社長の考えで、車の免許を持っている新入社員は1年交代で社長の運転手を担当することになっていました。私も1年間、庸一社長が外出するときは、社内の仕事を止めて、どこまでもお供をしたものです。社長の考えは、田舎から出てきて道を知らない社員に東京の街を走らせて地図を覚えさせること。社長と一緒に行動してマナーを覚えさせることでした。もちろん運転中に仕事の話聞くことが出来て勉強にもなりました。

こんな失敗もありました。いま思い出せば汗顔なのですが、社長がお客様の葬儀に参列されるのをお送りした際に、ホテルやゴルフ場の入り口のついでに葬祭場の玄関前に横付けし車から降りてもらおうとした途端、後ろから庸一社長に大きな声で怒鳴られ、慌てて走り抜けて玄関と離れた場所で降りてもらいました。常識も何も知らない私でしたが、常にお客様の立場を考えて行動するように教わりました。

また、庸一社長は当時としては贅沢な趣味であるゴルフが好きでしたから、色々なゴルフ場にお供しました。ゴルフが終わるまで待機しているのですが、待っている私にも気配りを忘れない方でしたから、社長の名前でおいしい食事をいただきました。そんな時には、普通のサラリーマンでは到底行けないようなゴルフ場での社長さんたちの集まりの様子を見聞き出来たことも幸せでした。

庸一社長は昭和30年に東京金属事業健保組合の理事に、昭和35年にはJISの「銅及び銅合金くず」の分類基準が改定される際の委員にそして昭和36年4月(私が入社した年)には東京故銅商工協同組合第4代理事長にと、業界で色々活躍されておられたので、組合の仕事にもあちらこちらと随行しました。社長の運転手を担当した一年は、本当に社内の仕事以外で勉強させていただいた年でした。

次号では会社が京浜島に移転してからの思い出をお話しましょう。

石平光夫 (執行役員専務)



ダイハツ三輪トラック (イメージ)